

輸送動向について（10月分）

平成26年11月

1. 輸送概況

今月は、台風18号上陸及び東海道線由比～興津間土砂流入、台風19号上陸の影響に伴い、月全体では高速貨909本、専貨18本が運休となった（前年は高速貨215本、専貨7本が運休）。

コンテナ貨物は、輸送障害の影響を大きく受け、農産品・青果物は北海道産野菜の好調な出荷が寄与し前年をわずかに上回ったものの、それ以外のすべての品目が前年を下回った。結果、コンテナ貨物全体では前年比89.4%となった。

車扱貨物は、石油が北海道での輸送終了や需要低迷により前年を下回ったほか、セメント・石灰石も減送となり、車扱貨物全体では前年比90.8%となった。

2. 輸送実績

（単位：千トン、%）

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,740	1,947	89.4%	12,276	12,140	101.1%
車 扱	719	792	90.8%	4,537	4,856	93.4%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、%）

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	234	232	2	101.1%
	化学工業品	160	181	-21	88.6%
	化学薬品	112	127	-15	88.7%
	食料工業品	258	273	-15	94.4%
	紙・パルプ	253	298	-45	84.7%
	他工業品	117	144	-27	81.5%
	積合せ貨物	183	204	-21	89.3%
	自動車部品	53	78	-25	67.8%
	家電・情報機器	32	37	-5	87.4%
	エコ関連物資	37	44	-7	83.8%
	その他の	302	330	-28	91.5%
	コンテナ計	1,740	1,947	-207	89.4%
車 扱	石油	447	505	-58	88.6%
	セメント・石灰石	142	148	-6	96.5%
	車 両	70	79	-9	87.7%
	その他の	60	60	0	99.3%
	車 扱 計	719	792	-73	90.8%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）